

# 平成28年度 地域ぐるみで体験の風をおこそう運動推進事業 やさいを育て隊 いっぱい食べ隊

- 1 趣 旨 鹿児島県の特産物である桜島大根などの冬野菜を栽培することにより、自然の中で協力して働くことの大切さを学び、自然の恵みに感謝するとともに収穫の喜びを味わう。
- 2 期 日 平成28年 8月27日(土) 9月17日(土) 10月15日(土)  
11月26日(土) 12月17日(土)  
平成29年 1月21日(土) 全6回
- 3 対象者 家族や児童クラブなど
- 4 募集定員 50人程度
- 5 参加者(申込み) 7団体54人(6家族, 1児童クラブ)  
延べ参加者数 202人
- 6 指導者 国立大隅青少年自然の家職員



## 7 実際の実施期日及び活動内容, 参加者等

月 日(曜)	活動内容	参加者(団体)	参加者数
8月27日(土)	野菜の栽培についての学習 種まき	佐山ファミリー 東本ファミリー 和田ファミリー 土井ファミリー 池之平ファミリー 若松ファミリー わかば児童館	39人
9月17日(土)	発芽の観察 除草 整地	佐山ファミリー 東本ファミリー 和田ファミリー 土井ファミリー 若松ファミリー わかば児童館	38人
10月15日(土)	除草 追肥等	東本ファミリー わかば児童館	26人
11月26日(土)	青首の収穫 除草	佐山ファミリー 東本ファミリー 和田ファミリー 土井ファミリー 池之平ファミリー 若松ファミリー わかば児童館	43人
12月17日(土)	青首大根・水菜の収穫 除草	佐山ファミリー 東本ファミリー 和田ファミリー 土井ファミリー 池之平ファミリー 若松ファミリー	19人
1月21日(土)	桜島大根の収穫 畑の掃除・整地 試食会	佐山ファミリー 東本ファミリー 土井ファミリー 池之平ファミリー 若松ファミリー わかば児童館	37人

## 8 事業運営について

本事業運営については、次のような点に留意した。

- (1) 特産物の桜島大根だけでなく、いろいろな冬野菜があることを紹介し、その中で比較的簡単に栽培できる野菜を選び、子供たちの関心を高めていった。
- (2) 実施期日は予定として設定したが、天候に左右されることや参加者の都合等を考慮して、個別に対応することとした。

## 9 事業の実際

### (1) 8月27日(土)

参加者は、まず9時から自然の家屋内で野菜の栽培の仕方や日程等についての説明を聞き、その後残暑の厳しい中、農園まで約15分間歩いて行った。

子供たちは種をまく時の注意や土のかけ方などを学び、その後割り当てられた自分の畑に、種を丁寧にまいていった。

### (2) 9月17日(土)

種まきから3週間。想像以上に大きく成長していた野菜を見て、子供たちは感動していた。じっくりと観察した後、もっと大きくなりますようにと、野菜の周りの除草を丁寧にやっていた。

大根葉など、間引いた野菜は持ち帰り、食材の一つとして利用することになった。

### (3) 10月15日(土)

9月の大きな台風で大根の根が切れるなど、多少の被害があった。それでも、収穫できるまでに成長した野菜もあり、参加した子供たちは大喜びだった。

### (4) 11月26日(土)

青首大根も成長し、成長の早いものは収穫できるようになった。収穫だけでなく、その後の除草も丁寧にやることができた。

### (5) 12月17日(土)

大きく成長した青首大根や水菜などを収穫し、袋いっぱいを持ち帰ることができた。

### (6) 1月21日(土)

いよいよ活動最終日を迎えた。久しぶりに農園に来た子供たちは、1か月前よりも野菜の葉っぱがさらに大きく茂った様子を見て歓声を上げていた。子供一人ではなかなか抜くことができない桜島大根もあり、家族や友達と協力して数人がかりで収穫していた。

収穫後は、畑でとれた野菜がたくさん入ったおでんを収穫の喜びを味わいながら、おいしくいただいた。



## 10 参加者の感想

- 今年もおもしろかったし、楽しかったから、またこの事業に参加したいなと思いました。(子供)
- 料理を作って出したときに、「自分たちで育てた野菜だよ。」と言うと、いつもよりおいしそうにたくさん食べてくれました。葉っぱがついた状態の野菜を見ることもなかなかないので、貴重な体験ができて良かったです。(保護者)
- 桜島大根の他にいろんな種類の野菜を育てることができ、子供たちもどのようにして野菜が育っているのかを知ることができ、良かったと思います。次回、どのような野菜を育てることができるのか、楽しみにしています。(保護者)

## 11 成果

- 参加した子供たちや保護者、関係者の皆さんは意欲的に活動し、毎回笑顔や笑い声の絶えない事業となった。また、子供たちは収穫だけでなく、その後の後片付けにも積極的に参加することができた。
- 参加者の満足度は高く、次年度の活動を楽しみにしているといった感想等が寄せられた。